

異業種のユニークな人材戦略から、課題解決のヒントを。

# 「褒める文化」を、会社の文化に

## 「称賛・感謝の声を届ける」制度

多くの業界で共通の課題となっている“人材の定着”。ポイントは、社員一人ひとりの“やる気”を高めることだといわれています。

クラウド名刺管理サービスを提供するSansan株式会社では、元々Sansanのバリューズ（行動指針）を体現している社員を見つけて、感謝と称賛を贈る制度（見つかッチ）がありました。今回紹介するのは、その感謝と称賛を当事者以外にも見えるように2018年にアップデートした制度で、社員の“やる気”向上に加え、会社組織の一体感醸成にもつながっています。

### “互いをたたえあうカルチャーのさらなる醸成”を目的に導入



制度導入の背景は2つありました。ひとつ目は、定期的に見直しを行う“Sansanのカタチ”と呼ばれる自社のミッションやビジョン、バリューズ（行動指針）を浸透させ、より強い組織を目指すこと。当時、新たになった“Sansanのカタチ”を掲げ、700名超の社員全員の意識統一を図りました。もうひとつは、流行のカルチャーやサービスを試してみても、“吸収できるものは吸収していこう”という企業文化でした。

## 称賛・感謝の可視化で“やる気と一体感”を高める

アップデートした制度では、Webやスマホアプリから、社員同士が感謝・称賛メッセージを投稿でき、周囲にも可視化されるプラットフォームを活用。利便性が高く、さまざまな効果が生まれています。

### 効果1 社員の“やる気”アップ

社員はオンライン上で、感謝・称賛の言葉を見ることが可能。コミュニケーションの活発化と仕事へのさらなる“やる気”につながっています。



### 効果2 会社の一体感の醸成

マネジメント担当者は、社員のやりとりから現状の業務状況の確認が可能。そこに送る称賛メッセージにバリューズを併記することで、会社として大事にしているスタンスやアクション、成果などを全員で共有しています。



## 利用率の底上げが制度を一段と有効なものに

今後、効果の最大化に向け、現状の利用率をさらに上げていくことを目指しています。そのため、新入社員に対して制度のメリットや意図を伝達。またSansanのバリューズを体現し、称賛・感謝を多く贈られた社員を毎月表彰し、全社に向けてアナウンスするなど、利用を促しています。利用者がより増えることで、社員一人ひとりが意識しあって業務に励み、社員同士の信頼構築や協働促進にもつながると期待しています。

取材協力: Sansan株式会社

「出会いからイノベーションを生み出す」というミッションを掲げ、クラウド名刺管理サービスの企画・開発・販売事業を展開。事業促進を後押しする社内制度を構築し、生産性や創造性の向上、人材定着を実現しています。

Sansanでは新型コロナウイルス感染症対策としてオフィス内でのマスク着用を義務づけていますが、撮影時のみマスクを外しています。



今日から実践!

## “やる気”を高める会社づくりには、“褒める文化”の醸成がカギ

“褒める＝甘やかす”と考えず、褒めて“やる気を高める”ことを念頭に置いて社内コミュニケーションを醸成しましょう。“褒める”という行為によって社員には、“自分の働きを見てくれている、認めてくれているという感情”が生まれます。結果として“褒める文化”を会社の文化にすることは、人材定着につながっていくのです。皆さんの会社でも、まずはできるところから始めてみましょう。

### 〈実践①〉「声かけ&感謝の習慣」

管理者は社員の仕事で素晴らしいと感じたら、“褒める”に加え、“いつもありがとう”という感謝の言葉を添えましょう。社員の“次も頑張ろう”という、やる気の向上につながります。声かけ&感謝は習慣化することが大切です。



### 〈実践②〉「サンクスカードの導入」

社員同士で“ありがとう”と伝えたいことをカードに記入。カードを社内に掲示し、他の社員の“うれしさ”やコミュニケーションを醸成します。またお客さまからの“感謝の言葉”も掲示することで、仕事へのモチベーションが高まります。



社員の良いところを見つけ、褒め、感謝してモチベーションを高めることが、人材定着のポイントに